

## インベストメントバンキンググループとしての戦略について

21世紀のリーディングバンクとして、多岐にわたるニーズに対応する優れた商品プロダクトを提供。

インベストメントバンキンググループは、国内・海外を問わずに、お客さまに最先端の金融技術を駆使したサービスを提供するグループです。今般の当行の「新経営体制」においても、インベストメントバンキンググループはコーポレートファイナンスグループと実質的に一体運営を行い、特に大企業や成長中堅企業を対象に、多岐にわたるお客さまのニーズに対応するための優れたプロダクトを提供していきます。

本年秋には株式手数料の完全自由化が実施されることで、競争は激化し、業界の再編が進んでいくことが予想されます。インベストメントバンキング業務は、まさしくビッグバンの主戦場となることが予想され、当行はお客さま指向型のワンストップショッピング体制を徹底して強化することにより、21世紀のリーディングバンクとしての飛躍を図ります。

銀行本体では、証券化、M&A、プロジェクトファイナンスを中心に各商品の供給体制を強化しました。新会計基準の導入による企業のバランスシートコントロールニーズが高まっている中、バランスシートに内在するリス

クとキャッシュフローに着目したストラクチャードファイナンスなど、新しいビジネスの開拓にも積極的に取り組んでいきます。

また、富士証券による起債・IPO（新株公募）、富士銀キャピタルによる新興企業への資本提供といった国内外の関連会社による当行グループの総合力を結集したサービスの提供にも努めていきます。銀行と証券子会社間のファイアーウォール規制の緩和、企業の直接金融へのシフトの加速化、MBOやCBOなどの新たな金融手法の登場などによる環境変化が進む中、今後は関連会社との連携を一層強めることによって、より高度で多様化するお客さまのニーズに対応できる体制を構築していきます。

## トレーディンググループとしての戦略について

高度なトレーディング手法や数理分析力を基盤に、クレジットプロダクト市場へも積極的に参画。

当行は、金利・為替・デリバティブズなどのマーケットにおいてリーダー的存在であり、当行の収益面でもトレーディング部門はその大きな柱となっています。

日進月歩の勢いで進化するこの分野で、資金調達や運用、各種のリスクヘッジなどのお客さまのニーズにお応えし、

また、一定のトレーディング収益を確保していくためには常に新しいトレーディング手法を開発していく必要があります。

当行は高度なトレーディングノウハウや数理分析力を背景に金利・為替取引における新種商品にも積極的に取り組むとともに、今後一層の拡大が見込まれるクレジットデリバテ

イブズ・CBO・CLOなどのクレジットプロダクト市場へも積極的に参画しています。

また、12年度以降に導入される予定の新会計基準のもとでも、十分な収益を確保していくため、高度なリスク管理体制のもと、さらなるトレーディング手法の高度化・多様化に取り組んでいます。例えば、金利・債券・為替・株式などを同時に取扱う商品横断的なトレーディング手法の研究・開発にも着手しています。



#### クレジットデリバティブズ (Credit Derivatives)

債権について、債務者の信用リスクのみを原債権やマーケットリスクなどから分離して取引対象とする相対取引の総称。

#### CLO (Collateralized Loan Obligation)

複数の貸出債権を裏付資産として発行・販売される証券。

米州貸出業務を通じたノウハウならびに資産担保証券のストラクチャリングのノウハウを活用し、99年3月米州にて邦銀初の純粋投資用のCLO組成に成功。当行はCLO貸出ポートフォリオのマネージャーとして参画。

## 公共・金融グループとしての戦略について

高度な専門性を活かして、多種多様な顧客の最新ニーズに積極的に対応。

### 1. 公共部門の具体的戦略

公共部門では公金をはじめとした資金の取扱いにおいて堅確な事務サービスを提供していくことを第一の使命と考えています。一方、公共マーケットにおいても、PFIC (P.19参照) などの新しい資金調達手法への注目が高まっており、このようなニーズにも的確に対応していくことを重要な課題と考えています。

プロジェクトファイナンスなど、インベストメントバンキングの分野で高度な専門性を有する、インベストメントバンキンググループなどと連携し、多様な顧客ニーズに積極的に応えていきます。

### 2. 金融部門の具体的戦略

日本版ビッグバン・金融制度改革などの進展により、金融機関同士の取引は従来以上に幅広く多面的なものになりつつあります。

金融部門では、金融機関のリスクヘッジニーズや低金利下の運用ニーズなどに対応して、デリバティブズや証券化商品をはじめとする市場関連商品・サービスの提供を一層強化していきます。

また、金融機関のアウトソース・ニーズに対応した各種業務受託など、当行グループの高度で専門的なノウハウを活かした商品・サービスの提供にも力を注いでいきます。